

年頭所感



富里市長 五十嵐 博文

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和4年の新春を健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には長引く新型コロナウイルス感染症により、
御不安と御苦労が続く中、日々の感染対策に御協力いただき
心より感謝申し上げます。

今年こそは、一日も早くコロナが終息し明るい一年になる
ことを、心から願うとともに、そのために私としても、市
民の皆様の生命と健康を守ることを最優先として、市民生
活の安定と経済活動の回復に向け、更に加速していく覚悟
しております。

本年は、平成14年に誕生した「富里市」が市制20周年
を迎える節目の年であります。

令和元年の8月に市民の皆様の負託を受け、市長就任以降、
度重なる災害や新型コロナウイルス感染症も踏まえ、市民
を守ることを最優先に取り組む一方で、「コロナは時代を
変える。だから富里市も変わる」という思いで、職員一丸
となって、新たな取組にも挑戦してまいりました。

そして、いよいよ一つ一つ実を結び、新たな取組への実感
と、新たな富里市に向けた姿を、徐々に市民の皆様と感じ
取っていただく、大事な一年であると思っております。

特に、コロナにより様々な教訓を得る中で、「市民が元気
なら、まちも元気」というように「元気」の尊さをあらため
て強く感じています。

そのような中での市制20周年は、市民の皆様と祝い、「元
気なまち富里」に向けた契機として、様々な記念事業の実
施に向け、現在準備を進めております。

一方で、富里の将来を見据えた、市の羅針盤ともいふべき、今
後10年間のまちづくりを示す、新たな「総合計画」の策定を
はじめ、歳入改革を柱に、道の駅機能を併せ持つ、本市ではじ
めでの観光・交流拠点施設「末廣農場」は、本年4月のオープ
ンを目指します。



さらに、富里モデルである、森林再生プランによる緑の再生や、
公共施設の電気料金削減と本事業の成果により生み出された利
益を本市のまちづくりに還元する「合同会社とみさとエネルギー」
の官民連携事業など、その効果を最大限に発揮してまいります。

また、小学校・中学校を対象としたGIGAスクール構想をはじ
めとする教育環境の充実や基盤産業である農・商工業の更なる
促進、さらには、子育て世帯や高齢者など、福祉にやさしい持
続可能なまちづくりを積極的に進めることで「選ばれるまち」
に向け、力強く歩んでまいります。

くしくも本年の干支は「壬寅（みずのえとら）」であり、「厳し
い冬を超えて芽吹き始め、新しい成長の礎」と言われており、
まさに、富里市が大きな一歩を踏み出す年であると思っております。
今年も市民起点により、常に市民の立場から市民と行政に関す
る物事を考え行動することで、実感ある政策への実現に向け全
身全霊で頑張っておりますので、何卒よろしくお願い申し上
げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますことを
心から祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

